

2021年度 全国自立援助ホーム協議会事業計画

なぜあなたは、”自立援助ホーム”に携わっているのか？その動機やきっかけは様々だろうが、そこには必ず共通する”思い”や”理想”があるはずで、これから”自立援助ホーム”が先に向かっていくためには、その共通の理念を核にして、あらゆる事柄に柔軟に対応していかなければならない。危機こそ好機である！そう前向きに捉え、わたしたちは前進していきたい。どんな状況下であっても、困難や生き辛さ、未来への不安や孤独感などを抱える若者のために、選択肢の一つとして選べる”自立援助ホーム”が、地域の中に溶け込み、其処に在り続けていかなければならないと考える。

2021年3月1日現在、全国に198の自立援助ホームがあり、日々の営みを送っている。今年度、この当たり前の生活をより良いものにし、一人一人の尊厳が守られ、安心したホーム運営が行なっていけるよう、全国自立援助ホーム協議会は以下の三つを柱として掲げ、各委員会の具体的活動を中心にその目標を達成していきたい。

- ①自立援助ホームに縁あって関わる全ての人々が、孤独を感じず生きていけるための基盤を図る。
- ②自立援助ホームのあり方並びに指針の明確化と内外への周知を図る。
- ③一人一人、一つ一つのホームが繋がっており大切にされている。そして、それぞれに役割があり、若者を支える自立援助ホーム協議会の一員としての自覚と誇りの育みを図る。

2021年度 委員会事業計画

| 委員会名 | 事務局 |
|------|--|
| 事業内容 | <p>1. 事務局活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会員関係 <ul style="list-style-type: none"> ・入会退会関係 (入会申し込み書の送付・電話での対応) ・メーリングリストの管理 ・会員ホームの相談対応 ・三井住友海上保険の受付 ・各種書類(通知文・ハンドブック・パンフレットなど)の発送 ○会計関係 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会の会費徴収 ・運営役員会の交通費の支払い ・各種振り込み ・会計ソフトの管理 ・決算書・予算書の作成 ○研修関係 <ul style="list-style-type: none"> ・参加申し込み受付 ・後援依頼・講師依頼等準備 ・レジュメの作成 ○助成金関係 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども未来財団(元プロミス基金)の貸借契約更新時補助金の受付 ・社会人一年生スタート応援事業の受付 ・各種助成金の申請及び対応 ○対外関係 <ul style="list-style-type: none"> ・各種後援依頼対応 ・厚生労働省対応 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・運営役員会・総会の議事録 ・運営役員会の準備 ・協議会法人化に向けての準備 <p>※事務局の下、専属の事務局員を一名配置し、上記活動の事務的な補助を行う</p> <p>2. 運営役員会の開催予定 オンラインで開催の場合、基本的に月に1回の予定 ※開催時期に間に合わない可能性のある議案については、そのつど運営役員にメール等でお知らせし、確認を取る</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>3. 事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年 4月 総会（書面議決） ・ 2021年10月 岡山大会（ホテルグランビア岡山） |
|--|---|

| | |
|------|---|
| 委員会名 | 制度政策委員会 |
| 事業内容 | <p><活動要旨></p> <p>昨年度の活動効果と反省を活かし、他団体との懇談、自立援助ホームのPR、ソーシャルアクション、制度政策勉強会等を実施予定。制度政策課題の達成に向けた実務活動（委員会内活動）を行い、他委員会との有機的な連携を図りながら進める。</p> <p>① 厚生労働省への陳情、意見交換会 予算要望の実現に向けた複数回の意見交換の場を調整。また令和5年度に向けた予算要望書を作成。会員ホームからの要望調査および集計は調査研究委員会とタイアップ（2月）</p> <p>② 政党、他団体へのソーシャルアクション 政党の団体ヒアリングを受けつつ、他団体の協議会との意見交換の場づくりを検討。当協議会の他団体への周知に繋がる機会を拡充する。日本知的障害福祉協会との会合等を想定。</p> <p>③ 他委員会との合同委員会 調査研究委員会等とのタイアップ。昨年度議論を踏まえて内容検討。（調査項目や集計・分析について意見交換）</p> <p>④ 実務活動（委員会内活動） 届出制と認可性のあり方について。自立援助ホーム版奨学金リスト作成他。</p> <p>⑤ あり方検討委員会 制度政策委員会から協議会内別プロジェクトへ移行。</p> <p>⑥ その他 その他、必要に応じた活動。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |

| | |
|------|---|
| 委員会名 | 調査研究委員会 |
| 事業内容 | <p style="text-align: center;">活動要旨</p> <p>前年度の実態調査の報告書の作成に取り組むとともに、ウェブ上で回答可能な形による利用者悉皆調査を行う。 前年度の実態調査報告と合わせ、利用者調査の結果が、協議会活動・各ホームの実践に反映するような活かし方を考える。 また、利用者の実情にかんがみ、支援の実践例が蓄積されるような調査の方法と内容を模索していく。 一方では、引き続き、研修内容の検討や制度改善要求など、協議会の活動にとって必要な調査を実施できるよう、他委員会と協同する。 今年度もオンラインでの活動が主となると考えられるため、各地方のニーズをくみ取れるように、広い範囲から委員を募りたい。</p> <p style="text-align: center;">利用者悉皆調査</p> <p>引き続き、学識経験者の協力を得て、定期的に行っている利用者悉皆調査を実施する。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>ホーム人数調査</p> <p>昨年に引き続き、例年通りホーム人数調査を実施する。</p> <p>その他</p> <p>調査研究活動にさまざまな立場の方が関わられるよう、例えば委員以外にも参加枠を設けたセミオープン委員会を行ってみるなど、協議会の調査研究活動に、より多くの会員が積極的にかかわれる方法を考えていきたい。</p> |
|--|---|

| 委員会名 | 研修委員会 |
|------|--|
| 事業内容 | <p>活動の要旨</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、昨年度計画していた研修は全て中止となった。求められる「新しい生活様式」を取り入れながら、大きく変動する社会の中でそれぞれのホームが日々の支援・運営の向上のヒントとなる研修を検討・開催していきたい。</p> <p>事業の内容</p> <p>・ホーム長研修会 日時 7月1～8日 場所 WEB研修 内容 行政説明 厚生労働省 研修 処遇改善加算要件研修</p> <p>・第27回全国自立援助ホーム協議会 岡山大会 日時 未定 場所 ホテルグランピア岡山 内容 行政説明 厚生労働省 基調講演 記念講演 未定</p> <p>・スタッフ研修会 日時 2020年2月上旬 場所 内容 未定</p> |

| 委員会名 | 広報委員会 |
|------|--|
| 事業内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動要旨 世間への自立援助ホームの認知拡大・働き手不足解消・寄付者獲得をメインとして活動する。 2. SNSの活用促進 LINE、Twitter、Youtube、Instagram等を利用した広報活動の方法、会員への情報提供の方法を精査し、活用促進を目指す。 3. PV（プロモーションビデオ）制作 外部協力者と共同し、目的別に複数のPVを制作する。ホームページや協議会公式Youtubeチャンネルを開設し掲載を行う。認知拡大についてはイメージアップにつながる映像、働き手不足解消についてはホームスタッフへのインタビューや仕事の様子を紹介する映像、寄付者獲得については自立援助ホームが抱える問題や支援を必要とする若者がいる事を伝える映像を制作する。 4. ロゴマーク制作 全国自立援助ホーム協議会のロゴマークを制作し、イメージアップを図る。 5. ホームページリニューアル 外部向け情報・内部向け情報を明確に分け、見やすく分かりやすいものにしていく。入居希望者・求職者・寄付希望者・会員とターゲットを明確に分けたページ |

| | |
|--|---|
| | <p>構成にしていく。</p> <p>6. 協議会たより 全国自立援助ホーム協議会の広報誌として、『協議会たより』を例年通り、年 2 回発行する。10 月と 3 月に発行予定。内容としては、先駆的な取り組みをしているホームの紹介、新規ホームやホーム長の紹介、制度の仕組みや情報発信など会員の要望の高い内容を掲載していく。</p> <p>7. 会議等 月 1 回広報委員会定例会議を WEB にて行う。PV 制作会議は随時行い、ホーム等への撮影同行・調整等を行う。</p> |
|--|---|